

人工林の生物多様性を高める森づくりの 普及啓発と市民参加型の施業モデル実践

活動地域



神奈川県



高木層樹木の成長を促す低木層樹木の伐採

課題

林業の衰退、木材価格の低迷と過疎化により、手入れがされていない人工林の荒廃が進み、森林の優れた公益的機能が十分に発揮されていない状況がある。

目標

人工林の多様性を高める森づくりの認知、また森林の多様性の大切さを実感する人を増やし、市民参加による協働で荒廃した人工林を生態系豊かな森林へと移行させる。



今後の
展望

「人工林の多様性を高める森づくり」の普及啓発と実践に関する情報発信を行い、企業等との森づくり協働体制を作っていく。最終的には、市民参加型で実践できる施業手法について提案を行いたい。

ひろげる助成

2年目

知識の提供・普及啓発

活動内容と成果

- 事例ガイドの作成と普及啓発
人工林の多様性を高める森づくりに関する知見と事例を集めた「人工林の多様性を高める森づくり事例ガイド」を公開し、1,617件のダウンロードがあった。関連する普及啓発オンラインイベントを2回開催し、計650人の参加申込みがあり、全国各地の参加者への情報発信を行い、手法や現況に関する認知を広げた
- 森林フィールドでのモデル施業
運営する「フォレスト21さがみの森」にて市民参加による実践を行った。高木性樹種の育成を促進するため、低木層樹種の除伐やヒノキ間伐を行った



完成した事例ガイド

事例ガイドの
ダウンロード

1,617件

普及啓発イベントの
参加申込み

650人

今年度計画の達成度

90%

目標達成度

65%

苦労した点と工夫した点

●苦労した点

2022年1月から2月の新型コロナウイルス感染拡大と積雪によりフィールド活動と調査ができない時期があり、計画の再調整に苦労した。

●工夫した点

PDF版ガイド公開後、内容を詳しく発信するオンラインイベントを企画、参加者と意見交換ができ、ガイドの認知も向上した。

〒113-0033

東京都文京区本郷2-25-14

第一ライトビル405

電話：03-3868-9535

E-mail：office@moridukuri.jp

HP：https://moridukuri.jp/

